

# 集まれば 楽しい 地域を元気に!

## 兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会  
発行 兵庫県商工団体連合会  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12  
☎ (078) 341-0563(代)  
FAX (078) 341-0885  
http://www.hyoshoren.co.jp/  
Email: info@hyoshoren.co.jp

2024年12月 第388号



### 「第17回東灘GENEKI祭」に 1万1千人が集う! 「東灘民商」

11月3日、魚崎川井公園にて、東灘GENEKI祭を開催しました。来月17日(日)で30年になる阪神・淡路大震災。東灘地域は壊滅的な被害を受け、多くの方が亡くなり、家屋が倒壊しました。震災から12年目を迎えた2007年、復興に向けて「道路や家屋はきれいになったけれど、まちはまだ元に戻っていない」、13回忌



「東灘民商」にあたり、地域を活性化させて活気を取り戻そう」と、東灘民商では地元の自治会や婦人会の方々と話し合いそのきっかけとなる、地域が協力し合うイベントを取り組んだのが始まりです。今では、東灘区内でも大きなイベントになりました。準備は東灘民商がスタッフの中心になり取り組みました。今年は前日11月2日が大雨で

したが、模擬店の出店者を中心にボランティアの皆さんが集まり、何とか設営を完了させることができました。当日は、朝6時から会場の準備をはじめ、10時に開会した時にはすでに多くの来場者でにぎわいました。ステージショーでは、地元グループのチアダンスや中学校のブラスバンドなど合わせて11チームで230人が出演。子どもに大人気のふれあい動物園、大人も夢中にさせる土建組合の椅子づくり木工教室、年金者組合の竹細工体験、おもちゃ工作隊のおもちゃ作り体験、東神戸医療互助組合の健康チェックと体力測定、東灘民商会員の出店をはじめ、地元の自治会団体や障がい者団体、学童保育

### 「兵庫県知事選挙」引き続き、要求実現へ取り組みを強めよう



11月17日投票の兵庫県知事選挙で、民商・兵商連は、憲法が輝く兵庫県政をつくる会に結集し、選挙戦をたたかいました。残念ながら、おおさわ芳清候補は当選に

はいたりませんでした。ご支持・ご支援いただいた皆さんに心から感謝を申し上げます。今回の知事選挙は、齋藤知事の失職にもとづくもので、告発文書をめぐる県政の混乱をいかにたてなおすのか、県知事のリーダー

の在り方、資質が問われた選挙でした。結果、齋藤知事の再選となりましたが、引き続き、百条委員会での真相究明と合わせ、知事自らの責任を明らかにすることが、この問題を正常化に導くと考えます。日常的に仲間どうし、商売とくらし、県政を語り合い、要求実現へ取り組みを強めましょう。

### 4年ぶりの新入会員歓迎会

〔須磨民商〕



した後、加口良秋会長から「新入会員歓迎会も4年ぶり。コロナ禍でさまざまな集まりもできなかった。民商は商売人のくらしと営業を守るために生まれた組織。物価高騰できびしい時代ですが一緒に商売を続けるために頑張りましょう」とあいさつ。

上野賢治事務局長が「国保や税金など、民商は商売人のさまざまな要求を団結の力で勝ち取ってきた歴史がある。減免制度や無担保無保証人の融資制度が中小業者の声と



参加者どうしが名刺交換

「清掃の仕事は公式ラインも使っているがほとんどが口コミの仕事だ」「リフォームは知識と技術が必要になるが、30年前から単価が上がっている。材料は値上がりしているので手間は下がっている」など、物価高騰などの影響できびしい商売の実態が出されました。歓迎会は、「民商で事業者としての知識をつけよう」「会員同士で繋がって商売を伸ばそう」と話し合い閉会しました。

### 事務所を移転しました! 【姫路民商】

姫路民商が事務所を移転しました。姫路市役所北側、駅からもインターチェンジから近くて便利です。



〒670-0940 姫路市三左衛門堀西の町47番地 TEL. 079-281-0123



▼先日、兵庫県北部の2つの自治体を訪ね、首長と懇談する機会があった。思った以上に地域の過疎化、衰退がすすみ、首長からは悩みや考えが話された▼中小企業・小規模事業者を中心とした地域経済の発展と住民生活の向上を求める考えは私たちと共通する。しかし、急速な地域の衰退は、政治の力が必要だ。住民がいる限り、その地域を大切にすることが求められるが、国策との矛盾にはがゆさを覚える▼この地で生まれ学び育ってきた若者が地元を離れなければならない環境。高齢化がすすむ。子どもの出生率の低下。どこに行っても同じような大型店が乱立する街並み。地域の特色まで失せてくる▼選挙前、多くの知人・友人から「兵庫県どうなってるの」と言われ、恥ずかしく思った。新しい知事はこの兵庫県をどう思い、どう変えようとしているのか▼どこにいても福祉や医療、社会保障が充実している。お金がなくても学校に通える。返さなくていい奨学金制度がある▼次世代のために、そんな兵庫にしたい。

(K)



# 集まって話し合い 行動しよう!

## 中小業者のきびしい実態を伝え 県の施策の拡充・改善を要請

11月13日、民商・兵庫連は兵庫県要請をおこない、15人が参加しました。中小業者のきびしい実態を伝え、県の施策の拡充・改善を迫りました。



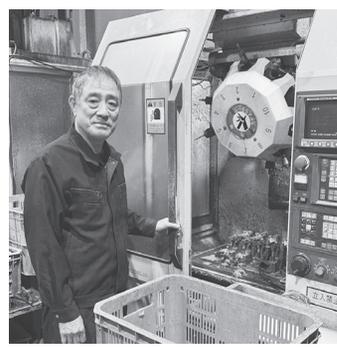
▼産業労働部、土木・まちづくり 土谷洋男会長を先頭に6人が参加。きびしい物価高騰のなか、最賃を上げるきびしさから神戸西民商の会長から語られ、また、兵庫民商から、制度融資を申し込んだにもかかわらず、プロパー融資にきりかわっていたなど、金融機関の横暴が話されました。

▼財務部関連 県から、「各市町で生活が困難な納税者に対して納税緩和制度を活用できるように研修で位置づけている」と回答。参加者からは「この自治体でも申請型の換価の猶予の件数を尋ねると0件と言う。その仕組みを理解していない職員もいる。自治体が窓口で積極的に説明できるようにしてほしい」と要請しました。

## 全婦協第35回総会に 兵婦協からは23人が参加!

10月26、27日、全婦協第35回総会が東京で開かれ、全国から287人が参加しました。全婦協の塚田豊子

めようとしている国保水準統一化に重点をおきました。県からは「まさに今、市町が議論し策定に動いている。減免制度は、各市町からさまざま減免制度をあげてもらい、全県同じ基準で、みんな得意できるたたき台を相談しているところ」と回答。参加者からは、「各自治体の独自の減免制度は尊重すべき、一番いいところを見本として制度を取り入れてほしい」と要請しました。



## 私の商売ものがたり

### 横のつながりに感謝

吉見工機は神戸市西区に位置する創業40年の部品メーカーです。取引先は自動車、船舶、設備関係など多岐に及び、それぞれの部品の加工を請け負っています。以前は30人の従業員が在籍していましたが、リーマンショック以降、仕事が減り続け、さらに直近ではダイハツ工業の不正問題などの煽りを受け、事業縮小を繰り返し、今は二代目

## 全国的仲間と語りあった 全青協第49回総会

11月17日、第49回全青協定期総会に兵庫協から8人の代表者が参加しました。



2日目は分散会と全日、第49回全青協定期総会に兵庫協から8人の代表者が参加しました。

## 平和と憲法を守ろう

### 今回の衆議院総選挙をどう見るか 神戸学院大学教授 上脇博之



自民党は総裁を岸田文雄議員から石破茂議

員へと交代させて石破内閣は10月27日の衆議院総選挙 (議員定数465) に突入しました。しかし、自民党の「政治とカネ」問題が大きな争点となり、

同党は公示前の247議席から191議席へと56議席減。公明党も32議席から24議席へと8議席減。両党の議席数は合計215で、過半数を割ったのです。その功労者は日本共産党の機関紙「しんぶん赤旗」でした。自民党の主要5派閥の各政治団体は20万円超の政治資金パーティー収入明細を収支報告書に記載していませんでした。「しんぶん赤旗」日曜版がその政治資金規正法違反を一昨年11月にスクープ

報道。その記事のコメントで裏金づくりの可能性を指摘した私は、東京地検特捜部に順位刑事告発し、同地検の捜査の結果、4派閥の各政治団体が巨額の裏金をつくっていたことが今年1月判明したのです。

ところが、特捜部は各派閥の会計責任者らを起訴したものの、約90名の裏金議員・元議員のうち起訴されたのは3名だけでした。庶民は、「これだけ大変苦しい生活なのに、なぜ自民党議員は裏金を

受け取っても起訴されないのか」と怒りながら確定申告。その後、物価上昇が進行。自民党本部が非公認候補に公認候補と同じ2000万円の政党交付金を交付していたと「しんぶん赤旗」日刊紙がスクープ報道。これが決定打となり、与党を大敗させたのです。

もっとも日本共産党は2議席減。今回の選挙結果に満足せず、希望をもって運動し続け、次の国政選挙に臨みたいと思います。

## 経営情報

12月から保険証はなくなるの? 12月2日に廃止されるのは、現行の健康保険証の「新規発行」です。その時点で有効な保険証は、最長1年間使用できます。さらに、現行の保険証の有効期限が切れた後は、申請不要で「資格確認書」が交付され、医療が受けられます。相談は民商へ。

## 編集後記

新旧メディア対決となった兵庫県知事選挙。候補者のXアカウト凍結やSNS上でのデマや脅迫行為が問題となり県会議員の辞職や「法的措置を取る」と述べる議員も。今後の選挙の在り方が問われている。(H)

**吉見工機**  
〒651-2145  
神戸市西区玉津町  
居住 137-1  
☎ 078-929-0598

NO.261  
中尾 吉見さん  
(製造)  
神戸西民商

度が求められ、一人前になるには相当の年月を要する。だから、人材育成には余裕ある経営が不可欠で、今の世情(政治)では後継者を育てようがない。部品加工は目立つものではないけど、自分が手掛けたものが世に使われるという職人冥利に尽きるのだが」と話されていました。